



ヒラソル・エナジー株式会社との資本業務提携について

2019年 7月 12日

関西電力株式会社

合同会社 K4 Ventures

関西電力グループの取組み

少子高齢化・人口減少をはじめとする社会課題の高まりに対して、「グループ」総合力という強みを活かしつつ、イノベーションを加速することで、より幅広く解決策をご提供いたします。



合同会社K4 Ventures (K4V) からの出資スキーム

2

関西電力

出資

K4V

直接
投資

社内
ベンチャー※

直接
投資

社外
ベンチャー

間接
投資

ベンチャー
キャピタルファンド

社外
ベンチャー

※関西電力の社内ベンチャー

直接、個別のベンチャー
企業に投資

ベンチャー企業に投資
するファンドに投資

＜K4Vの概要＞

会社名：合同会社K4 Ventures

所在地：大阪市北区中之島3丁目6番16号
(関西電力株式会社本店ビル内)

設立：1998年9月※

代表者：稲田 浩二

※2018年11月に関電ベンチャーマネジメントから社名変更

	直接投資	間接投資
投資先	個別のベンチャー企業	ベンチャーキャピタル ファンド
投資目的	ベンチャーの革新的な技術/ビジネスモデルと関西電力グループ経営資源の活用による事業機会の創出	技術・ビジネスモデルの 情報収集等
投資実績	Ubie(株) (株)VPPJapan (株)SIRC イディットフォース(株) CONNEX SYSTEMS(株) Next-e Solutions(株) ピクシーダストテクノロジーズ(株) (株)Space Power Technologies ヒラソル・エナジー(株) (今回)	(株)環境エネルギー投資 Scrum Ventures LLC

今回の出資は、この仕組みにおける11件目のベンチャー投資となり、直接投資としては9件目

「ヒラソル・エナジー株式会社」の概要

会社概要

ヒラソル・エナジー株式会社



設立：2017年2月

資本金：21.16百万円

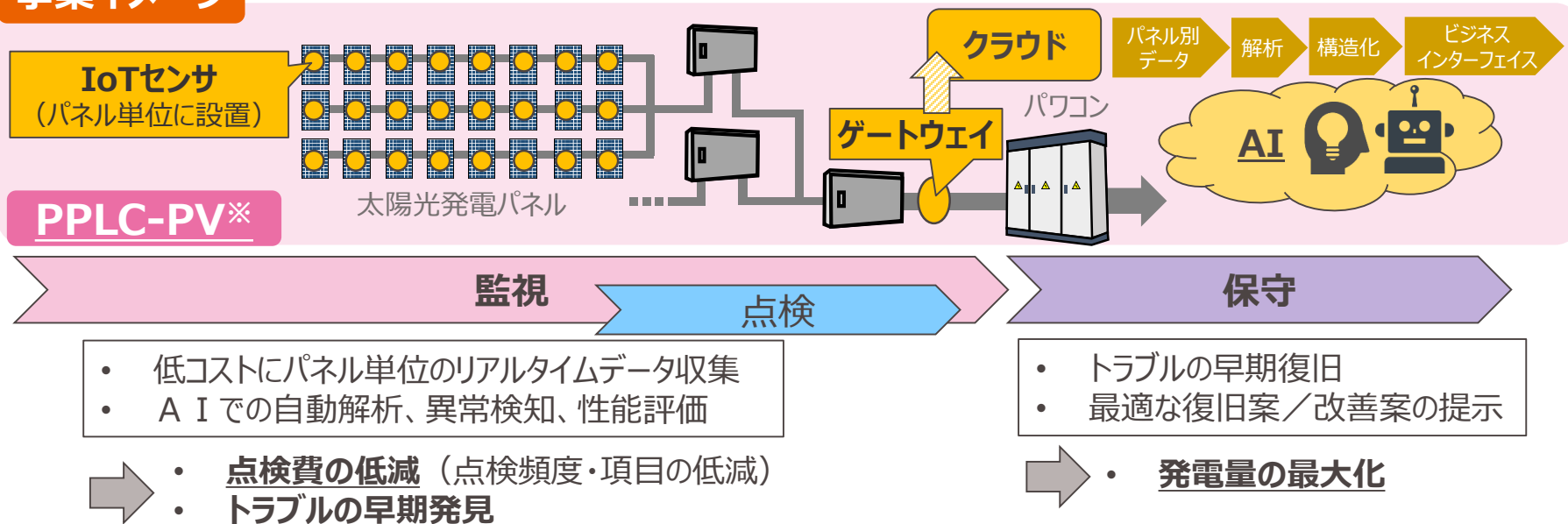
本社：東京都文京区本郷7丁目3番1号
東京大学アントレプレナザ 205号

代表者：李 旻 (Li Min)

URL：<https://www.pplc.co/>

- 独自の電力線通信技術を活用し、太陽光発電設備をパネル単位で保守管理するIoTプラットフォーム「PPLC-PV」を開発中。
- 当該システムを用いて、太陽光パネルに取り付けたセンサから収集した電圧や温度などのデータを解析することで、太陽光発電設備の稼働状況を遠隔で監視。設備の保守点検に係る人件費の低減や、データ解析により不具合を検知し対応することで発電量の最大化の実現を目指す。

事業イメージ



※PPLC-PV：A Pulse Power Line Communication for Series-Connected PV Monitoring

電力線通信技術をコアに太陽光発電設備のパネル単位で保守管理するIoTプラットフォーム
「PPLC-PV」を提供するベンチャー企業

資本業務提携の目的

資本業務提携に際し、ヒラソル・エナジーの太陽光発電設備をパネル単位で監視する技術について技術評価を行いました。今後、当社グループの太陽光発電設備を利用した実証試験を行い、当社グループの電力ビジネスにおける知見やノウハウとヒラソル・エナジーが保有する技術を融合させ、当社グループでの活用や、お客さまへ新たなサービスの開発・提供を共に目指します。

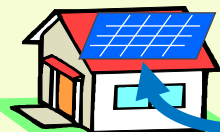
PPLC-PV活用イメージ

太陽光発電の拡大

再生可能エネルギーについて「2030年代に設備容量600万kWを目指し、国内外で積極的に開発を推進（国内外での新規開発200万kW以上）」※

※関西電力グループ中期経営計画（2019-2021）の取組み

【再生可能エネルギーのさらなる開発・活用】



PPLC-PV

電源競争力の確保

- O&Mの省力化
（点検保守費の削減、トラブルの早期発見、復旧）
- 安定的な発電量確保

保有設備（技術研究所等）



実証試験
サービスの開発／効果の検証

パネル単位のデータおよびAIを活用した
リアルタイム遠隔監視
最適な発電量UP案の提示